

液化室だより

東大物性研究所 <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/labs/cryogenic/>

新年度にあたって

低温委員長 榊原 俊郎

低温委員長に就任して3年目を迎えました。低温液化室の主たる使命は寒剤をユーザーに安定かつ安全に供給することにあります。これは今後とも変わることはありませんが、この間、国立大学の法人化という大きな変革の中で、液化室の業務等にも少なからず変化がありました。事業所として安全衛生管理に関する法規等の順守を徹底していくことが求められていますが、これに関連して液化室は昨年、液体窒素自加圧容器の検査所としての認定を得、規則で定められた定期検査を遅滞なく行える体制を整えました。この検査所は昨年6月から開業し、所内保有の容器に関して当面の検査を順調に終えることができました。また、今年度からは柏キャンパスにおける高圧ガスボンベの貯蔵と管理という新たな業務が始まります。一方、ユーザーにとって、昨年度から液体ヘリウムの使用料を科研費で直接支払えるようになったことは法人化のメリットと言えるでしょう。

さて、当液化室における昨年度の年間ヘリウム供給量は22万リットルを越えました。この数字は国内外の他のヘリウム液化施設と比べても群を抜いた多さです。このように本来の使命を十二分にこなしつつ、新たな要請にも迅速に対応できたことは全く当液化室の優秀なスタッフの功績によるところ大であり、委員長の役割としては彼らが働きやすいよう見守ることぐらいしかありませんが、この1年、液化室の運営に微力ながら尽くす所存です。今後とも皆様のご協力をお願い申し上げます。

新人教育のお知らせ

例年春に行っている寒剤利用講習(新人教育)を下記の日程で行いますので、柏キャンパスにおいて初めて寒剤等を使用する方は、必ず受講して下さい。また、興味のある方も受講して頂けます。

1. 日時 : 2006年 4月26日(水)、27日(木) 13:30~
2. 場所 : 物性研究所 本館 大講義室 及び 低温棟
3. 内容 :
 1. 高圧ガス保安法について
 2. 寒剤の性質
 3. 高圧ガスの危険性について
 4. 容器の取り扱いについて
 5. 寒剤供給の受け方



<詳細・申込み> <http://www.issp.u-tokyo.ac.jp/cryogenic/kosyu/>